

安佐北区のまちづくりの方向性について（案）

1 都市圏北部の拠点として、活力にあふれるまちづくり

都市圏北部の拠点として生活サービス機能の充実や、安佐北区の産業の中心となる中小企業の振興を図り、雇用を創出することで地域経済を活性化させ、人口の流出に歯止めをかけるとともに、多くの人が集い、活力にあふれるにぎわいのあるまちづくりを進める。

2 支え合いの心を育み、住み続けられるまちづくり

高齢者や子どもなど支援が必要な人を地域が支える「地域共生社会」を実現するため、高齢者の見守り活動や子どもの居場所づくりなどの課題に取り組む地域コミュニティ活性化と担い手の確保を図り、支え合い、みんなが住み続けられるまちづくりを進める。

3 自然や歴史、伝統文化など地域資源を活かしたまちづくり

豊かな自然や、歴史ある寺社・遺跡、神楽・和太鼓などの伝統芸能、きれいな地下水を利用した酒や醤油などの醸造業など、安佐北区ならではの地域資源を次世代に継承するとともに、これらの地域資源を活かしたまちづくりを進める。

4 みどりの恵みが実るまちづくり

農業や林業における多様な担い手の育成・支援や農業生産基盤の整備を進め、農林業の振興を図るとともに、農地や里山などの地域資源を活用し、都市住民との交流、定住の促進など中山間地の活性化を図るまちづくりを進める。

5 安全で災害に強いまちづくり

自然災害の起きやすい地理的条件を有しており、近年は、異常気象に起因する自然災害が多発していることから、関係行政機関や区民と一体となって、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進める。

安佐北区のまちづくりの方向性の見直しについて

第1回安佐北区まちづくり懇談会提案	第2回安佐北区まちづくり懇談会提案
1 自然をはぐくむ、うるおいのあるまち（継続） 豊かな自然の次世代への継承やスポーツや健康増進事業などを通じて自然にふれることのできる機会の創出、地域住民との連携による環境問題への取組などにより、自然をはぐくむ、うるおいのあるまちづくりに取り組みます。 2 歴史・文化が息づくまち（継続） 遺跡・史跡、歴史的街並みなどを保存し、まちづくりの要素として活用するとともに、神楽や和太鼓などの伝統芸能の次世代への継承に取り組むなど、歴史・文化が息づくまちづくりに取り組みます。 3 都市圏北部の拠点となるまち（継続） 多くの市町と隣接する都市圏北部の拠点として、圏域の生活サービス機能を集積させ、交通機能の充実や交流機会の拡充を図るとともに、産業の活性化等に取り組めます。 4 支え合いの心が育つまち（継続） 保健・医療・福祉サービスの充実を図るとともに、子供の遊び場や児童・生徒の居場所づくり、高齢者の見守り活動など住民主体のまちづくりを支援し、地域コミュニティの維持・活性化を図り、支え合いの心が育つまちづくりに取り組みます。 5 みどりの恵みが実るまち（継続） 農業や林業における多様な担い手の育成・支援、農業生産基盤の整備を進めるとともに、農地や里山などの地域資源を活用し、都市住民との交流など中山間地の活性化に取り組めます。 6 安全で災害に強いまち（新設） 自然災害の起きやすい地理的条件を有しており、近年は、異常気象に起因する自然災害が多発していることから、関係行政機関や区民と一体となって、安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりに取り組みます。	⇒自然や歴史、文化を地域資源としてまとめ、「3 自然や歴史、伝統文化など地域資源を活かしたまちづくり」として、見直した。 ⇒安佐北区の拠点機能としての充実と喫緊の課題である人口減少に対応するまちづくりの方向性として、「1 都市圏北部の拠点として、活力にあふれるまちづくり」として、見直した。 ⇒「活力とにぎわいのあるまち」を土台として、少子高齢化対策としての「地域共生社会」の実現を目指すまちづくりの方向性として「2 支え合いの心を育み、住み続けられるまちづくり」に見直した。 ⇒「4 みどりの恵みが実るまちづくり」とし、新規就農者の定住の促進を盛り込んで見直した。 ⇒「5 安全で災害に強いまちづくり」として、第1回提案分を再提案した。